

— 国内初、マレーシアと日本の姉妹動物園提携 —
**マレーシア国立マラッカ動物園と
長崎バイオパークは
姉妹動物園提携を行います**

長崎バイオパーク（バイオパーク株式会社／所在地：長崎県西海市西彼町中山郷2291-1）とマレーシア国立マラッカ動物園（所在地：マレーシア・マラッカ州）は、このたび姉妹動物園提携を結ぶことで合意し、来る2008年6月19日（木）、マレーシアの首都クアラルンプールにおいて調印式をおこなう運びとなりました。

マレーシアと日本の動物園が姉妹動物園提携を結ぶのは国内で初めてのことです。

【調印式予定】

会 場 National Art Gallery／マレーシア国立美術館（マレーシア・クアラルンプール）

調印日 2008年6月19日（木）※予定

参加者（予定）

マレーシア政府関係者（マレーシア国立公園・国立動物園管理局、マラッカ動物園、マレーシア文化観光省、マレーシア政府観光局、マレーシア・ツーリズム協会、マレーシア政府東方政策局）、PAMAJA関係者、JICAマレーシア事務所関係者、在マレーシア日本大使館関係者、バイオパーク(株)（長崎バイオパーク）代表取締役／坂本信吾、同取締役園長／山口智士、ほか

【姉妹動物園提携の目的】

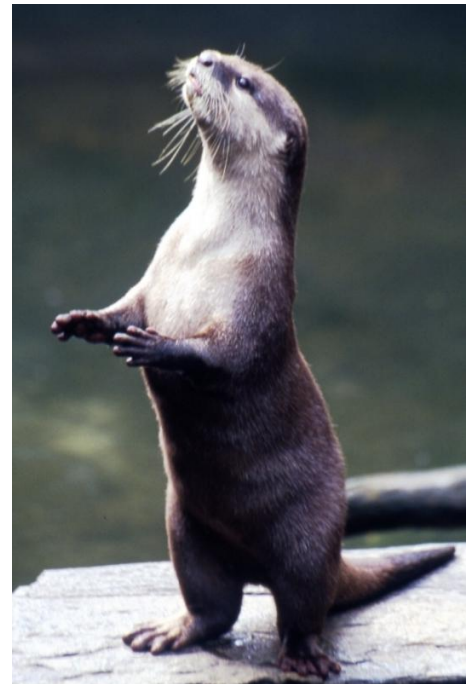
マラッカ動物園と長崎バイオパークは、両園が姉妹動物園として提携し、互いに協力・共同して事業を進めることにより両園がともに今後ますます繁栄・発展していくことをめざします。主な提携の目的は、以下のとおり。

- 動物の交換や繁殖、保護プログラム等の策定・実施
- 両園のスタッフ交流（派遣）の実施や、飼育・施設運営技術・ノウハウ等の共有
- その他両園の利益のための将来に向けた取組み

なお、このたびマレーシア国立公園・動物園管理局ならびにPAMAJAから長崎バイオパークにコツメカワウソ10頭が寄贈されることが決まり、6月下旬にマレーシアから当園に到着の予定です。

●**コツメカワウソ／食肉目・イタチ科**

中央アジア、インドから東南アジアに分布。頭胴長40～65cm、尾長25～35cm、体重2.7～5.4kg。カワウソの仲間では特に小型の種類。きれい好きで体の毛を自分で手入れします。仕草がかわいらしい動物です。



(プレスリリースや写真等のメール配信ご希望の方は、お気軽にご連絡ください)

BIO PARK
長崎バイオパーク

【本件についてのお問い合わせ】

バイオパーク株式会社 / 福喜(フクキ), 迎, 長谷川
TEL.0959-27-1090 FAX.0959-27-1196
〒851-3302 長崎県西海市西彼町中山郷2291-1
<http://www.biopark.co.jp> e-mail:info@biopark.co.jp

補足資料／マラッカ動物園・長崎バイオパーク姉妹動物園提携について**1. 姉妹動物園提携に至る経緯**

1991年に長崎県在住の有志により長崎県世界青年友の会（略称：FOWYN・代表／福喜哲史）が発足。同会は世界の人々との交流を通じて学び、助け合い、分かち合いながら、国際交流事業を主体として地域文化の創出や地域づくり運動に努め、地域社会の振興と連帯・連携をはかり、地域での国際交流の普遍化を目的とする。具体的な活動としては県内留学生のホームステイ受入や、JICA（独立行政法人国際協力機構）の青年招聘事業のコーディネート及び実施、外国訪日団の受入など。特にマレーシアとの親交は深く、同国からの技術者や青少年の研修受入や同国民族舞踊団の長崎公演、またマレーシアで開催されるジャパンフェスティバルへの参加など、マレーシアとの人的交流、文化的交流、経済的交流への礎づくりのための活動をおこなっている。

バイオパーク(株)代表取締役の坂本信吾は、(株)親和銀行大崎支店長（元職）だった1995年からFOWYN会員およびアドバイザーとして同会の活動をはじめている。

2003年7月、JICAの2003年度青年招聘事業によりマレーシアの地域振興グループが来日、同グループが研修視察のため長崎バイオパークを訪れる。その後、PAMAJA（パマジャ＝JICAの青年招聘事業に参加したマレーシア人OB・OGからなる組織団体）が日本に派遣する青少年研修視察ツアーに、2004年度から長崎バイオパークを見学コースとして取り入れ、マレーシアの青少年たちが毎年当園に来園するようになる。

2004年～2006年のマレーシア青年来園の際には、PAMAJA役員団も長崎バイオパークに同行。この頃からPAMAJA・FOWYN・長崎バイオパークが、マレーシアと長崎の経済・文化交流をはじめとする今後の事業連携の可能性について意見交換をおこなうようになる。

2006年にマレーシアで開催された「ジャパンフェスティバル」には、FOWYNの一員として長崎バイオパークの坂本も参加。その折、PAMAJA側からFOWYN・長崎バイオパーク側に向けて、マレーシアと長崎との交流の記念に何か動物を贈呈したい旨の打診があり、マレーシアと長崎バイオパークとの関係に新たな展開が訪れる。

2007年1月、長崎バイオパーク園長・山口智士がFOWYN代表・福喜哲史とともにマレーシアを訪問。PAMAJA、マラッカ動物園、マレーシア農業技術研究所、在マレーシア日本大使館などを訪れ、マラッカ動物園と長崎バイオパークの姉妹動物園提携の可能性について打診をおこなう。

2007年9月、当園にてマレーシア農業技術研究所より低尺バナナ、マンゴー、スターフルーツ、ドラゴンフルーツ、ロンガンなどのトロピカルフルーツ果樹の苗木を購入。仮植床にて成育ののち長崎バイオパーク園内に植栽の予定。

2008年3月、FOWYN会長の福喜哲史が長崎バイオパークに入社。同年4月、当園園長の山口と福喜がマレーシアに再渡航。マレーシア国立公園・国立動物園管理局や今回一連の橋渡し役であるPAMAJAを訪問し、当園とマラッカ動物園との姉妹動物園提携のための最終ディスカッションをおこない、今日に至る。

2. マレーシア国立マラッカ動物園について

The Zoo Melaka(マレー語／“マラッカ動物園”)は、マレーシアで2番目に大きな国立の動物園。マレーシア国立公園・国立動物園管理局が管理・運営をおこなっている。マレー半島の西側マラッカ州に所在、設立は1963年。敷地面積54エーカー(約22万㎡)。飼育数約200種1,200点以上。野生動物調査や繁殖保護、教育センターとしての役割も兼務。東南アジア動物園協会(SEAZA)加盟施設。



3. PAMAJA(パマジャ)について

このたびのマラッカ動物園と長崎バイオパークとの姉妹提携の仲人役であり、マレーシア関係省庁への働きかけや交渉を進めてくれた事実上の立役者。

“PAMAJA”とは、マレーシアからJICA青年招聘事業(諸外国から21世紀を担う青年を日本各地域に招き、国際交流と理解を深めてもらうことを目的とするプログラム)に参加したOB・OGから成る会。1986年に設立され、現在の会員は2,000人を超える。メンバーは官公庁をはじめ様々な分野で活躍しながら、日本をはじめ他国との国際交流や友好活動などに積極的に取り組んでいる。現会長はアブドル・ラーマン氏(Mr. Abdul Rahman Bin Abdul Razak)。

PAMAJAはマレー語“PERSATUAN ALUMNI PROGRAM PERSAHABATAN ASEAN-JEPUN ABAD KE 21, MALAYSIA”の略称。

4. マレーシア、マラッカについて

東南アジアの中心に位置するマレーシアは、マレー半島とボルネオ島の一部・サバサラワク州から成る。国土面積はマレー半島部分とボルネオ島部分を合わせ、33万338平方キロメートル。日本の面積の9割弱の広さの土地に、日本の16%の人口が住んでいる。国土の約60%が熱帯雨林。人口約2500万人のマレーシアは、マレー系・中国系・インド系、そして多数の部族に分けられる先住民族で構成される多民族国家。それぞれの民族が持つ宗教、生活習慣の融合は独特な文化を生み、マレーシアの魅力を創り出している。砂浜や南国の熱帯雨林、魅力的な島々、神秘的で荘厳な山々など自然美に溢れる国である。

マラッカ動物園が所在するマラッカ州は、往時の“海のシルクロード”を支えた歴史都市。15世紀に興ったマレー王国の首都であり、かつてマラッカ海峡に臨むマラッカの地理的な優位性と富を求め、ポルトガル、オランダ、英国など当時の列強が次々と東西貿易の拠点を築き、文化を持ち込んだ。当時長崎に入ってくる貿易品の多くは、ここマラッカから出発したもの。また、キリスト教布教で有名なイエズス会宣教師ザビエルも、この地から日本に向けて出発している。このようにマラッカと長崎は、古くから縁のある都市である。



5. 長崎バイオパークについて

バイオパーク株式会社が管理・運営する動植物公園。檻や柵をできるだけ使用せずに、動物たちが生活している本来の生態系に近づけて造り上げた環境の中で展示する「生態展示」方式を採用している。さまざまな動物たちとのふれあいやえさやり体験ができるのも特徴。開園は1980年11月。敷地面積約30万㎡。飼育動物数約200種2千点(昆虫等含む)。栽培植物数約1千種3万点。日本動物園水族館協会(JAZA)加盟、長崎県博物館協会加盟施設。



(プレスリリースや写真等のメール配信ご希望の方は、お気軽にご連絡ください)

BIO PARK
長崎バイオパーク**【本件についてのお問い合わせ】**

バイオパーク株式会社 / 福喜(フクキ), 迎, 長谷川
TEL.0959-27-1090 FAX.0959-27-1196
〒851-3302 長崎県西海市西彼町中山郷2291-1
<http://www.biopark.co.jp> e-mail:info@biopark.co.jp